

《薬局サーベイランスコメント》

『インフルエンザの患者数は前週よりもやや増加したが、依然として流行の兆しは認められない』

薬局サーベイランス (<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kanjyasuikei/>) からの 2020 年第 52 週 (12 月 21 日～12 月 27 日) の、日本国内におけるインフルエンザの 1 週間当たりの推定患者数は約 1,620 と前週の値 (約 1,210) からやや増加しましたが、前週と同様、過去 10 年間の同時期の平均値の 200 分の 1 以下であることに変わりはありません。依然として患者数が大きく増加してインフルエンザの流行が開始となる兆しは認められていないと考えられます (図 1a、図 1b)。

今後のインフルエンザの流行について予測することは困難ですが、流行に適した冬期が続いています。インフルエンザの患者発生動向については注意が必要です。

2020 年 12 月 29 日
済生会中津病院感染管理室
安井 良則